

ホシガレイ大規模放流による放流魚混入率の上昇

福島県水産資源研究所 種苗研究部

1 部門名

水産業－栽培漁業－その他カレイ類

2 担当者名

平川直人

3 要旨

福島県では、2018-2020年にそれまでの5倍程度に相当する大規模なホシガレイ種苗放流を実施した。県内主要魚市場で実施してきた漁獲物調査では、全長30-50cmの範囲で放流個体が徐々に増え、2022年はこの全長範囲の約半数は放流個体であった。混入率は2019年以降徐々に上昇し、2022年は33.8%であった。これまでの調査の結果、ホシガレイは放流から漁獲加入まで3年程度要することから、大規模な種苗放流により混入率が上昇したものと考えられた。

- (1) 福島県では2018~2020年に180-242千尾の大規模なホシガレイ種苗放流を実施した。この数は、2000-2010年平均放流数(40千尾)の5倍程度に相当した(図1)。
- (2) 2020年以降、全長30-50cmの範囲で放流個体が多く確認されるようになり、特に、2022年はこの全長範囲の44.6%は放流個体であった(図2)。
- (3) 混入率は2019年2.1%であったが、2022年33.8%まで上昇した(図2)。

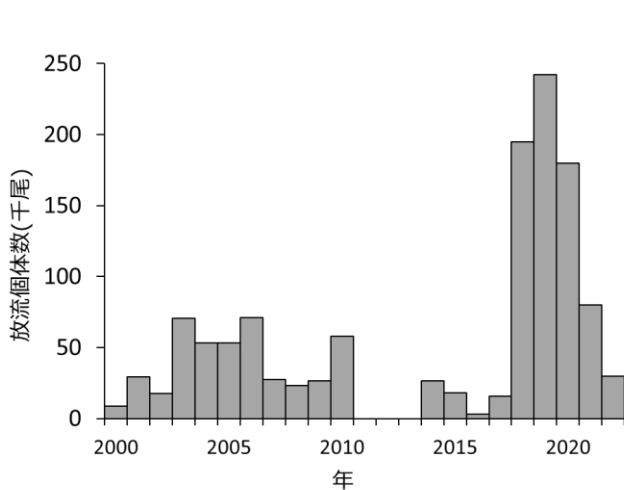


図1 福島県におけるホシガレイ種苗放流数

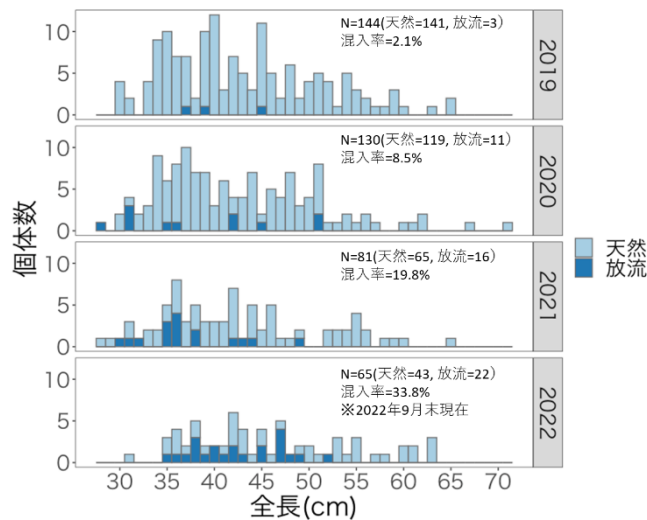


図2 2019-2022年におけるホシガレイ漁獲物調査結果

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3~7年度
- (2) 研究課題名 栽培漁業対象種の放流技術に関する研究

5 主な参考文献・資料

- (1) なし